歯周基本治療のクリニカルラダー

知識編



Stage (

歯周基本治療を始めるための 環境づくり

(診療システムの整備)

このステージでは、歯周基本治療を行うための基盤を整えます。歯周組織の構造を理解し、歯周組織検査の項目を把握します。これらを理解することで、日本歯周病学会のガイドラインに基づき、患者さんの口腔内の状態を正確に把握する準備が整います。

CHECK!

- □ 歯周組織の構造の理解: 歯周組織の構造を 理解し、図を描くことができる
- □ 歯周組織検査項目の理解:検査項目を理解 し、正確に検査ができる
- □ 日本歯周病学会ガイドラインの理解

歯周基本治療の準備

歯周組織の構造 を理解する 歯周組織検査に ついて学ぶ ガイドラインの 理解









Stage

歯周病に関する基本的な知識 をもち、指導を受けながら 歯周基本治療を始められる

このステージでは、歯周病の基本的な知識を習得し、指導を受けながら歯周基本治療を始めることが求められます。歯周病の病因論や病理組織学的知識をもつことで、患者さんに対する適切なアプローチが可能になります。

CHECK!

- □ 歯周病の病因論の理解:最新の歯周病の病因論を理解する
- □ 歯科の専門書の読み解くことができる:教 科書や専門書を通じて知識を深めることが できる
- □ 病理組織学的知識をもつ Step1: 歯肉炎と 歯周炎の違い、BOPの意味などを理解 できる

歯周病の病因論を 理解する

歯周病の 原因について より深く理解する





書籍を読み解く 教科書や専門書

を通じて 知識を深める



病理組織学的 知識をもつ

歯肉炎と歯周炎の違い や BOP (出血の有無) の意味を理解する

Stage 2

指導を受けながら 歯周基本治療を行うことが できる

このステージでは、指導を受けながら実際に 歯周基本治療を行うことが求められます. X線 写真の読影ができるようになり、解剖学的知識 を活用し、より詳細な歯科衛生診断が可能とな ります.

CHECK!

- □ X線写真の読影ができる:X線写真を正確 に読み取れる
- □ □腔内写真を評価できる
- □ 病理組織学的知識をもつ Step2: 病理組織学的知識を臨床症状に結びつけて考えることができる
- □ 解剖学的知識の理解:歯の解剖学的特徴を 理解し、臨床と結びつけることができる
- □ 全身疾患と生活習慣の理解:歯周病と全身疾患・生活習慣の関係を理解できる

をもつ 歯肉・歯槽骨・

付着の理解

糖尿病などの全身疾患・

喫煙と歯周病の関係の 理解

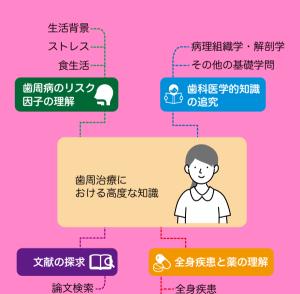
Stage 3

歯周基本治療を 自分1人で的確に行える

このステージでは、歯周基本治療を1人で行う能力が求められます。さらに幅広い知識を活用し、患者さんの状態に応じたより包括的な治療ができるようになります。

CHECK!

- ─ 歯周病に関連する歯科医学的知識の理解と 追求: 病理組織学,解剖学以外にも深い理 解をもつ
- □ 全身疾患と薬の理解:歯周病と全身疾患, 服用薬との関係の理解を深める
- □ 歯周病のリスク因子の理解:生活背景・ストレス・食生活などのリスクを読み取ることができる
- □ 文献の探求 (検索能力): 必要な文献を探 し出すことができる



服用薬

Stage 4.

対象者の個別性を考慮し, 歯周基本治療を進められる

このステージでは、対象者ごとの個別性を考慮した歯周基本治療が求められます. 症例の分析能力やインプラントに関する知識などを活用し、症例を総合的に判断することで、効果的な治療を提供することが可能になります.

CHECK!

- □ 症例を読む力:検査資料や患者情報から総合的に判断する能力をもつ
- □ インプラントの理解:インプラント周囲組織と歯周組織の違いの理解
- □ 歯周外科治療の理解:歯周組織再生療法を 含む各種歯周外科治療の適応症の理解
- □ 咬合の理解:外傷性咬合や咬合性外傷についての理解
- □ 多職種連携ができる:関連機関や他職種と 情報共有するための知識をもつ
- □ 文献の吟味能力:文献を吟味する能力を もつ

症例を読む力



Stage 5

長期にわたる臨床経験から、 指導者としての幅広い知識・ 技術をもつ

最終ステージでは、豊富な臨床経験を基に、 指導者としての幅広い知識が求められます. つ ねに情報をアップデートし、より専門性の高い 歯周基本治療を提供するための役割を担いま す

CHECK!

□ つねにアップデートされた知識をもつ





